

『紡ぐ』

2021. 9.15 第28号

発行 教育相談室「あした塾」

急に寒くなりよ。虫の声も大きくなってきた。秋は確かに深まってきている。

実りの秋。高潮のため残念な秋に終わった地域もあり、所々あちこちでは稲刈りが進んでいます。

地球温暖化のせい？

今年は栗や柿の実が早いようだが、ちがいますか？



(マリーゴールド)

最近ではあまり見られなくなりましたが、稲はぎです。(梶田内)



インフルエンザ

所は9月議会インフルエ
ンザ予防接種費用を無償化する補正予算案を提出した。対象は65歳以上の高齢者の他、18歳以下や妊婦、基礎疾患の治療中の人です。新型コロナウイルスの併発を予防することと医療の逼迫を避けるためです。新型コロナウイルス感染者

感謝

コロナ禍で賛否が渦巻く中、オリンピック・パラリンピックが開催されました。その評価は歴史を刻むことになるのでは。さて、そのオリンピック・パラリンピックを盛り上げるため、支えるために日本中の多くの人たちが力を出しました。コロナ禍の中、不本意な思いもあったのではないかと思います。穴水町の聖火ランナー、小森正幸さん、舞谷裕美さん、そして車いす生活を送られている嶋谷長吉さんの3人も「心を込めたリレー」という思いを実現させることができました。多くの皆さんの優しさに感謝しながら笑顔で写真におさりました。

(この機会にオリンピック・パラリンピックの歴史をひもといてみたいのでは...)(写真提供 舞谷裕美さん)



が減る傾向にあり、また、もう第6波の心配が出てきています。
油断大敵です。

頑張れ！ 遠藤！！



9月場所4日目、輝を破る(北国新聞より)

9月議会から

9月議会での一般質問（発言順）

小泉一明議員 「新型コロナワクチン接種」「キャスル真名井接客」「トンネル無灯火対策」「運転マナー向上」について

田方 均議員 「男女共同参画推進策」について

湯川ひとる議員 「子育て施設や山中学校の感染症対策」「通学路の安全対策」「文化財の保護」について

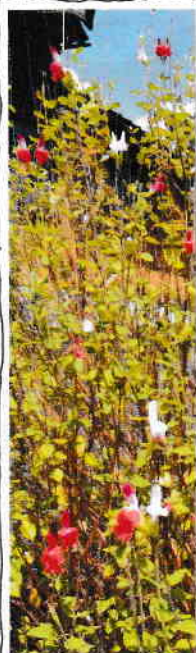
山本祐孝議員 「主要地方道能登川線椿崎地内道路改良」「住吉公民館の高潮対策」「定住移住サポート」「特定公共物」「所管職員」について

伊藤繁男議員 「観光案内板設置」「過疎対策」について

大中正司議員 「過疎地域持続的発展計画（策）」「所管注事業の入れ」などについて

佐藤 豊議員 「自然災害（特に高潮）対策」「所内道路案内看板劣化対策」について

山根孝純議員 「町立学校問題」「主要地方道能登川線（当車～鹿夜）改良工事」について



（山根孝純）

この9月議会は

8名が質問

レオレ!!

今回は議長を除く9議員中、8名の議員が質問に立ちました。これは3月議会に続き2回目となります。

石川県の白山市議会では「議会改革」の一環として議員全員が質問に立つことを申し合わせ、9月議会では議長を除く20名全員が質問を行いました。

「住民の声を行政に届ける」「住民のための政治を進める」ための議員としての責務です。（議員必携参考）

丸投げ

小泉議員はキャスル真名井の誘客努力や接客姿勢の問題を取り上げました。当事者の反省もあり、町民連絡を強化しました。

クレームということで、指定管理者に全て「丸投げ」と言われている状況が現状です。

また、山本議員は定住移住に関する問題を取り上げました。ここでも町は案を把握していないようです。地域起これ協力隊員の方にはずいぶん努力されているようですが、活劇の困難さを理解し、これ「丸投げ」にならないようにしてほしいとの声です。



高潮

山本議員、佐藤議員は先の高潮被害の問題を取り上げました。

写真は麦ヶ原地内の高潮被害にあつた田んぼです。これは苦境が水の泡です。作業をしながらに聞くと、7月にもあった2度目だと。土止めなどするけど、それを越えて来る...と。また麦ヶ原集落に行く道路も狭く、これ何とかならないと...